

令和４年度第１回市民と議会のつどい（議会報告会）実施報告書

開催日時	令和４年５月２１日（土） 午前９時３０分 ～ １１時３７分	
開催場所	木津川市中央交流会館	
担当議員	班代表者	谷口 雄一
	司会者	柴田 はすみ
	報告者	福井 平和
	記録者	谷口 雄一、西山 幸千子
	班員 (上記以外)	森本 隆、山本 和延
参加人数	２２人	
主な質疑・意見等	Ｑ：新消防庁舎建設に合わせ、木津西出張所と山城出張所の統廃合が進めらると聞くが、救急車の現場到着が遅れる懸念がある。城山台９丁目に建設すること、２出張所の廃止について、各議員はどのような見識を持っているのか。 Ａ：場所の問題とか、出張所を廃止することに関しては、議論が必要であり、反対の立場である。 Ａ：消防署が近ければ良いというものではなく、体制的なことも含めて考えなければならない。数値化してわかりやすく市民の方に説明していくべきである。新築に賛成。 Ａ：消防本部のあり方については、整理が必要。出張所の統廃合については、メリット、デメリットを十分踏まえる必要がある。署員のチーム編成の充実も大事と考える。 Ａ：第三者機関の調査によると、木津西出張所を統廃合すると、木津西方面への到着は遅れるが、トータルの運用効果に影響は見られないという報告で妥当性が高いとされており、同意する。ただし、山城地域は到達時間の短縮化対策が必要で、城陽井手木津川バイパスその他周辺のアクセス道路の整備の調査検討が必要である。 Ｑ：兜台の説明会で出された資料「救急車が来るまでに何をすべきか」に心肺停止から３分経てば蘇生が５０％と時間が経過するほど蘇生率が下がる。木津西出張所が廃止されると、到達時間が３分余計にかかると言われている。どう考えているのか。 Ａ：消防本部の新体制で指揮隊の運用と消防力の強化を目指していく。全体を見た時に本部の強化を優先すると考える。 Ａ：山城出張所については、城陽井手木津川バイパスが開通してから、到着時間等を測り方針を決める内容。女子職員の対応や５０年経った消防署の課題を解決するために新しくすべき。	

主 な 質 疑 ・ 意 見 等	(意見) ・震度7の地震が発生した場合、本当に安全なのか。再検討すべき。見直すことが一番市民の利益になる。 ・木津西地域の高齢者が40%。将来どこに消防署が必要かを考えるべき。 ・消防防災科学センターの調査では、山城出張所の統廃合は妥当ではないとの答申を受けている。1つは到着の遅れ。1つは大規模災害で孤立する恐れがある。 ・市が答えるべきことを代弁するのではなく、市に対しいろんな考え方を出し議論するのが議員の役割・責任では。 ・消防職員の数が充足していない。高齢者が増えて救急の必要性が高まる。命に関わる仕事。ぜひ改善を。 Q：「介護施設の人員配置基準の引き上げを求める意見書」、「保育所等の最低基準と保育士の処遇改善を求める意見書」について、市としては負担が無い中で、反対する理由がないと思うが。 A：国において、取り組んでいるとの認識で反対した。 Q：消防団員報酬アップの理由は、なり手がいないことへの処遇改善。介護や保育の現状もなり手がいない。子育てナンバーワンの木津川市から保育をもっと充実させようという動きを国へ、ぜひ言ってほしい。 A：現状として改善すべき内容であり、国に対して意見書を出すべきであると考えが、反対多数で否決となった。現場の方の声は、とても大切である。 Q：小川内水対策の強化で、大きな予算金額となっている。どのような事業計画でいつごろ完成か説明してほしい。 A：具体的な数字は持ち合わせていないが、新たなポンプ施設を作ることと、いろんな操作盤等を一元化、地盤を嵩上げをして浸水対策をするということで聞いている。現状の合同樋門をさらに強化するものと理解している。 Q：公園の滑り台のネジが外されていた。子どもが増えている中で、何か対策を考える必要があるのでは。 A：遊具の点検は年間計画で、業者に委託している。監視カメラというわけにいかないが、何かあれば一報いただきたい。 Q：耕作者の高齢化により、耕作放棄地が増えることが懸念されている。どのような施策があるのか。圃場整備についての進み具合は。 A：耕作地の集積化等、農業委員、また推進委員等含めて、農業法人化等、お互い助け合って、耕作放棄地が発生しないようにといった動きは進んでいる。圃場整備は、大変重要と考えており、特に中山間地の農地についてはどうするかというのは課題である。 Q：電柱の水色のラッピングについて、子どもが不安を口にする。浸水深の表示はどういう理由か。
----------------------------	--

主 な 質 疑 ・ 意 見 等	A：紙面等のハザードマップもあるが、立体的に電柱にラッピング表示することによって、浸水深をイメージしやすくなることが、導入のきっかけと聞いている。賛否もあるが、防災意識を高めてもらうということが趣旨である。 Q：困りごとについて、どのように相談すればいいのか分からない。 A：市役所の各担当、議会、また、議員個人へメールで一報いただければ、対応する。いろいろ意見等をお寄せいただければありがたい。
質問・要望等 で行政側へ報告すべき内容	○ 今後、高齢者の人口がどんどん増えていく。消防署の問題は、決して一つの消防、市役所の問題ではなく、命に関わる仕事であるから、将来的な部分を考えていただきたい。 ○ 降雨量が多くなると、広い範囲で、土砂崩れが発生しやすく、消防署の移転地が本当にふさわしいかどうか、よく検討してほしい。 ○ 京奈和自動車道は、供用開始から20年以上になるが、暫定2車線のままである。用地は確保されているのに4車線化の整備が進んでいない。 ○ 相楽小学校の通学路で危険な場所がある。点検と改善にもう少し力を入れてほしい。
そ の 他 特 記 事 項	

上記のとおり、報告します。

令和4年6月3日

木津川市議会議長 森本 隆 様

令和4年度第1回議会報告会

第1班 代表者 谷口 雄一